

御内原（うちばる）郭

この郭は城の最も高い場所にあります。口承では、ここには女官の居住区がここにあったことが示唆されています。御内原郭は北殿のすぐ後ろの基礎が高くなっている区画に位置しており、この場所は祭祀などの行事に携わるのに便利だったと考えられます。現在と同様、当時は女性は宗教的な儀式において主要な役割を担っていました。今帰仁の最も重要な御嶽である「テンチジアマチジ」もこの区画の中にあります。ここに住んでいた女性たちの数や彼女たちの実際の役割と互いの関係についてはあまり分かっていませんが、今帰仁のこの区画は女性らしいアイデンティティを有しています。城が使われていた時代、周囲の石垣は今より高かったものの、居住者は間違いなく今日の私たちと同じ涼しい風を楽しんでいました。近年石垣が低くなったことにより、海、周囲の山や村、そして下に位置する大隅郭の石垣の見事なパノラマビューが見られるようになりました。